

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮南小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	全体的には、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図れた。しかし、個人差が大きいなど個別に支援を講じていく必要がある。通常の授業で適用問題の実施を確実に行うことに加え、業前のスキルアップタイムでドリルパークやスタディサプリ等を活用してさらに反復・習熟に取り組んでいきたい。
思考・判断・表現	「必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分がききたいことを中心に捉え、自分の考えをもつことができる。」や「文章全体の構成や展開を考えることができる。」の項目に課題がみられた。「読書は好きですか」や1日の読書量の項目が市の平均を下回っている学年も多いことも影響していると考えられる。そのため、読書の機会を増やし、日常的に文章にふれることや国語の授業では初発の感想を書いたり、場面分けや文章の構成をつかんだり、筆者の要旨をまとめたりする授業を重視していきたい。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査において、「国語・算数・社会・理科が好き」という児童の割合が79.6%であったが、算数については約70%であったので、ICTを活用したり、児童にとって必要性のある課題を設定したりして、主体的に学習に取り組む態度を育てていきたい。

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	R4年度全国学力・学習状況調査及びR4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、算数の「知識・技能」において1pt向上させる。	⇒ これまでのドリルの活用に加え、「ドリルパーク」、「スタディサプリ」等を活用し、漢字や基本的な計算等の反復・習熟に取り組む。
思考・判断・表現	R4年度全国学力・学習状況調査及びR4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、国語の「思考・判断・表現」において1pt向上させる。	⇒ 高学年の教科担任制、および中学年の一部交換授業を実施し、専門性を生かした授業を展開し、児童が自分の考えをもち、自分の言葉で表現できるような学習場面を設定するなど、授業の質の向上を図る。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査において、「国語・算数・社会・理科が好き」という児童の割合を80%以上にする。	⇒ 授業のユニバーサルデザイン化と個別最適化の視点を踏まえた授業を展開することで、児童が見通しをもって学習活動に取り組めるようにする。

<小6・中3> (4月~5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	算数において、R4年度全国学力・学習状況調査及びR4年度さいたま市学習状況調査の自校結果と比較し、R5年度全国学力・学習状況調査では+4.1ptであった。また、さいたま市学習状況調査では、小6では+4.9pt、小3では+1.6pt、小4では+1.4ptと上回った。小5学年では若干下回り-1.2ptとなった。	A
思考・判断・表現	国語において、R4年度全国学力・学習状況調査及びR4年度さいたま市学習状況調査の自校結果と比較し、全国学力・学習状況調査では+5.3ptであった。また、さいたま市学習状況調査では、小6では+1.8ptであったが、小3、小4、小5学年では若干下回った。	B
主体的に学習に取り組む態度	授業のユニバーサルデザイン化と個別最適化の視点を踏まえた授業を展開することで、R5年度さいたま市学習状況調査において、小3~小6のすべての学年の「国語・算数・社会・理科が好き」という児童の割合が平均79.6%で、目標をおおむね達成することができた。	A

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語-3pt、算数+4.1ptであった。算数の図形の意味や性質を捉える問題に課題がみられた。図形を扱う際には、具体操作を用いながら実感を伴って理解を深める活動も重視したい。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語+5.3pt、算数+0.3ptであった。国語の書くことにおいて、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がみられた。資料をもとに筋道を立てて自分の考えを書く活動を重視したい。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査の児童質問紙における「国語の勉強は好きですか」の質問項目の肯定的な回答の割合は71.4%で、「算数の勉強は好きですか」の質問項目の肯定的な回答の割合は、72.7%であった。より一層、授業のユニバーサルデザイン化と個別最適化の視点を取り入れた授業の展開に努める。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析 ※令和5年度のさいたま市学習状況調査結果は参考値扱いとなります。			
小3	R5年度さいたま市学習状況調査では、国語、算数ともにすべての項目で市の平均を大きく上回っている。また、算数の「知識・技能」において、R4年度の自校結果より+1.6ptであった。(異集団経年比較)教科への興味関心については、国語・算数・社会・理科の4教科の肯定的な回答が平均87%と高い傾向がみられた。	小4	R5年度さいたま市学習状況調査では、国語、算数ともに市の平均を概ね上回っているが、国語の話すこと・聞くことについては若干下回った。また、算数の「知識・技能」において、R4年度の自校結果より+1.4ptであった。(異集団経年比較)また、教科への興味関心については、国語・算数・社会・理科の4教科の肯定的な回答が平均75%であった。
小5	R5年度さいたま市学習状況調査では、国語、算数、社会、理科のすべての教科で市の平均を上回ったが、理科の粒子を柱とする領域は市の平均を若干下回った。また、「思考・判断・表現」において、R4年度の自校結果より、+1.1ptであった。(異集団経年比較)また、教科への興味関心については、国語・算数・社会・理科の4教科の肯定的な回答が平均83.3%と高い傾向がみられた。	小6	R5年度さいたま市学習状況調査では、国語、算数、社会、理科のすべての教科で市の平均を上回った。また、算数の「知識・技能」において、R4年度の自校結果より+4.9ptであった。また、国語の「思考・判断・表現」においては、+1.8ptであった。(異集団経年比較)

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 全国学力・学習状況調査の結果から、図形の概念や性質の理解に課題がみられたため、具体操作を行う時間を多く設定する。
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし